

171伐木等機械を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	5	9～10	当社敷地内の立木が歩道にはみ出していたため、バックホウを使用して立木の伐木作業をしていた。高さ15mくらいの立木の上部10mくらいをバックホウで敷地内に引き寄せており倒そうとした際、折れた立木が敷地内に倒れず歩道側に倒れ、立木から10m離れて歩道側で監視役をしていた被災者に接触し転倒し右足をひねり負傷した。	64	6	30199	100～299人
2	2018	6	13～14	太陽光発電の設置工事で木の伐採作業中に、長い枯れ木を2本の丸太に沿わせて、丸太の間からユンボでつかんで折ろうとしたところ木が折れて、5m先にいた被災従業員の腰に当たり、骨盤を折った。	61	6	30199	30～49人
3	2018	8	14～15	ヒバ風倒木処理の枝払い作業に従事していて、グラップルの右側の油圧計機器のカバーが変形し、応急修理の際、グラップルを停止させた後でカバーを内側からハンマーで叩こうとしたところ、カバーが閉まりカバーと保護アームの間に左手親指を挟み被災した。	31	7	60209	10～29人
4	2018	8	8～9	桜の木を伐倒後バックホウ後方に移動し、後方にて玉切りする旨を声掛けに来た際、オペレーターの指がグラップル旋回用のスイッチに触れ桜の木が左旋回し、被災者の左前頭部に当たりヘルメットを着用していたが裂創を負い6針の縫合を要した。	51	6	30108	1～9人
5	2018	10	13～	人参の収穫作業中、小型ハーベスタで人参の土落としをしていた。	68	7	60101	100～

			14	その際、手袋がローラーに巻き込まれ、右手指を骨折した。				299 人
6	2018	11	15 ～ 16	伐採工事中に、重機で倒した木の枝を切っていたとき、枝が右足甲に落ちて骨折した。	60	4	30199	1～ 9人
7	2018	12	16 ～ 17	山林の現場にてプロセッサで玉切作業終了後に、プロセッサの枝打ち用の、ナイフ取り付け部のボルトの緩みに気付き、工具で締める作業中に、工具が滑り左手親指の付け根がナイフに当たり負傷した。	64	8	60201	1～ 9人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。